

## 新型コロナウイルス感染症治療薬 PA-001 の臨床研究開始、 および「オミクロン型変異株」に関する進捗について

ペプチエイド株式会社（代表取締役社長：舩屋圭一、本社：神奈川県川崎市、以下「ペプチエイド」）は、新型コロナウイルス感染症治療薬の開発候補品PA-001に関して、国内での臨床研究が開始されることになりましたのでお知らせいたします。

ペプチエイドは、2021年11月11日付の[プレスリリース](#)の通り、臨床研究法に基づく特定臨床研究（以下、「本臨床研究」）を実施するため、認定臨床研究審査委員会（以下、「CRB」）への申請手続きを行っておりました。CRBでの審議の結果、2022年2月3日、本臨床研究実施の承認が得られました。本臨床研究の概要については下記をご参照ください。

### 【本臨床研究の概要】

研究名称	PA-001 臨床試験 -日本人健康成人男性を対象とした PA-001 注射剤の用量漸増単回試験-（COVID-19）
研究の目的	日本人健康成人男性を対象として、PA-001を単回投与したときの安全性及び薬物動態を検討する。
対象被検者	健康な日本人成人男性
予定被験者数	30

また、PA-001の有効性に関して、これまで従来型のSARS-CoV-2やアルファ株、ベータ株、ガンマ株、デルタ株の変異株に対して高い抗ウイルス活性を有することを確認しておりましたが、この度、国立感染症研究所との共同研究における生ウイルスを用いたin vitro試験の結果、オミクロン株に対しても他の変異株に対するものと同等の高い抗ウイルス活性を有することを確認いたしました。

### 【ペプチエイド株式会社 代表取締役 舩屋圭一 のコメント】

「この度、臨床研究実施の承認が得られましたこと、また PA-001 がオミクロン株に対しても高い抗ウイルス活性を有することが確認できたことを大変うれしく思います。PA-001 は、独自性の高い作用機序を有する化合物であることから、単剤で使用可能であるとともに、他薬剤との併用療法も可能であると考えております。また注射剤の開発と並行して、現在経口剤としての開発も進めており、PA-001 は COVID-19 治療の選択肢を大きく広げていけることを期待しております。また、オミクロン株への活性が確認されたことで、PA-001 の作用機序が幅広い変異株に対して有効なアプローチであることが改めて示されたと考えております。本臨床研究を通じて、一日も早く、患者さんに有効性の高い治療薬を届けられるよう、開発作業を加速してまいります。」

\*\*\*\*\*

#### ■ペプチエイド株式会社について■

ペプチエイド株式会社は、「新型コロナウイルス感染症に対して有効な治療薬を世界中の医療現場にいち早く届ける」という社会的意義に賛同したペプチドリーム・富士通・みずほキャピタル・竹中工務店・キシダ化学の5社が、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療薬の開発を目的として2020年11月に設立した合併会社です。ペプチエイドは、治療薬の候補化合物についてペプチドリームから譲渡を受け、非臨床試験からヒトでの有用性確認（POC）に必要な前期の臨床試験までを最短で実施することを目指します。ペプチドリームが有するペプチド関連技術・ノウハウを活用することに加え、富士通が有する組合せ最適化問題を高速に解くアーキテクチャー「デジタルアニーラ」やHPC（高性能コンピューティング）等を活用することで研究開発スピードの加速を図っています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】  
ペプチエイド株式会社  
Email: [info@peptiaid.com](mailto:info@peptiaid.com)